

第63回

日本太鼓全国講習会



グリーンホテル三ヶ根（提供：グリーンホテル三ヶ根）

期 日 2018年9月22日（土）・23日（日）

会 場 愛知県・グリーンホテル三ヶ根

主 催  [公財] 日本太鼓財団
NIPPON TAIKO FOUNDATION

主 管 日本太鼓財団愛知県支部

後 援 文化庁、愛知県、愛知県教育委員会、西尾市、西尾市教育委員会、日本財団



公益財団法人 日本太鼓財団

会 長 松 本 英 昭

このたびの「平成30年7月豪雨」ならびに「平成30年北海道胆振東部地震」災害により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様方に心よりお見舞申し上げます。

公益財団法人日本太鼓財団では、現在41都道府県に45支部が設立され、加盟団体数666チーム、会員総数1万9千人を数えております。

財団事業の一つである資格認定制度に基づく公認指導員、技術認定員の総数もそれぞれ216名、11,961名と着実に増えております。

今年3月には、石川県において、次代を担うジュニアの健全育成と日本太鼓の後継者づくりを目的に「第20回日本太鼓ジュニアコンクール」を開催いたしました。昨年に引き続きブラジル、台湾に加えアルゼンチンチームが特別演奏として出演しました。国内外の予選には536チーム5,704名が出場、本選では全60チームが日頃の練習の成果を競い合い、大分県「三代目源流少年隊」が初優勝を果たしました。なお、この大会の様子はインターネット配信により、全世界に中継されました。

今後も、10月東京都文京区で障害者チームによる「第20回日本太鼓全国障害者大会」、大分県大分市での「第33回国民文化祭・おおいた2018『太鼓の祭典』」、11月東京都浅草で「第2回浅草太鼓祭」、石川県白山市において「第15回日本太鼓シニアコンクール」をそれぞれ開催いたします。

これもひとえに日本財団並びにボートレース関係者のご支援の賜物と感謝申し上げます。

日本の太鼓は、老若男女、障害の有無に関わらず、また国籍を問わず益々多くの方々に愛好されております。このように日本太鼓が脚光を浴びるなか、第63回日本太鼓全国講習会が愛知県西尾市・グリーンホテル三ヶ根において開催できますことは誠に喜ばしいことでもあります。この講習会は、日本太鼓の指導者育成と太鼓技術の向上を目的として行うものです。参加される皆様には、一流講師の指導のもと、技術や礼節の習得は勿論、太鼓の歴史や起源を学びとっていただきたいと思っております。併せて、日本太鼓を通じ全国の仲間と交流を図り、友好を深め、それぞれの思い出に残る講習会となりますことを期待いたします。

最後になりましたが、今回の講習会にあたり、ご支援、ご協力いただきました文化庁、愛知県、愛知県教育委員会、西尾市、西尾市教育委員会をはじめ、ご指導いただきます講師の先生方、そして細部にわたりお世話いただきます主管団体の日本太鼓財団愛知県支部の皆様にご心からお礼を申し上げます。



日本太鼓財団愛知県支部

支部長 芝川 征夫

このたび、15年ぶりに「第63回日本太鼓全国講習会」が愛知県で開催されることになり、愛知県支部といたしましても一致団結して準備をまいりました。

全国津々浦々からご参加いただける皆様と歓談し、講習会の意義を語ることは大変な喜びであり、心から皆様に歓迎申し上げます。

会場となりますグリーンホテル三ヶ根、西尾市の関係者の皆様におかれましては、本会の趣旨に深いご理解を賜り、ご配慮下さいましたことに、大変ありがたく、感謝の意を表する次第であります。

さて、私ども愛知県支部は13団体、1,000名近い会員を有しており、それぞれの地域に密着して活動しております。愛知県には江戸時代に熱田神宮の神楽から発展した伝統太鼓から、近年の創作太鼓まで色々な太鼓がありますが、人々の安寧、平和への祈りと感謝の精神を結集したものであることに変わりはありません。年に1回は「愛知県和太鼓のつどい」と称して会員団体が一堂に会して太鼓演奏をご披露しております。今回の「日本太鼓全国講習会」におきましては愛知県支部として、心をひとつにして、お越しの皆様に歓迎致します。

そんな日本の伝統を皆様と共有できることを心から喜び、日本太鼓の伝統を正しく広めていく責任を感じ、併せて青少年の音感教育の一助をなすべく今後とも努力いたします。

全国講習会開催にあたり、格別のご支援、ご協力を賜りました文化庁、愛知県、愛知県教育委員会、西尾市、西尾市教育委員会、日本財団をはじめとする関係各位と日本太鼓財団、講師各位に対し心より感謝の意を表し、歓迎と御礼の挨拶とさせていただきます。

第63回日本太鼓全国講習会 概要

1. 目的 日本太鼓の指導者育成と太鼓技術の向上を促し、日本太鼓の普及・振興を図ることを目的として実施します。
2. 開催日時 2018年 9月 22日（土） 11：00（受付開始 9：30）
23日（日） 12：30 講習会終了
* 専門講座を受講された方は、講話「太鼓について」（長谷川義氏）を13：30より受講後、14：30頃の解散となります。
なお、技術認定のための検定試験は日曜の13：30より実施します。
3. 講習会場 グリーンホテル三ヶ根（愛知県西尾市）
4. 主催 公益財団法人 日本太鼓財団
5. 主管 日本太鼓財団愛知県支部
6. 後援 文化庁、愛知県、愛知県教育委員会、西尾市、西尾市教育委員会、日本財団
7. 講習内容
 - 専門講座 秩父屋台囃子講座（複式複打法） 高野 右吉氏（埼玉県）
助六太鼓講座（単式複打法） 今泉 豊氏（東京都）
縮太鼓講座（単式単打法） 長谷川 義氏（大分県）
 - 基本講座 総合指導 古屋 邦夫氏（財団技術委員長）
3級基本講座 安江 信寿氏（石川県）
4級基本講座 若山 雷門氏（岐阜県）
5級基本講座（初心者講座） 松枝 明美氏（長野県）
専門講座講話 長谷川 義氏（大分県）
更新研修会 浅野 昭利氏（石川県）
8. 公認指導員昇級試験
本講習会において公認指導員の昇級試験として講習内検定を実施します。
9. 受講者数 約200名
10. 受講に際して
 - (1) 講座は、途中で変更することは出来ません。
 - (2) 講習途中の出入り、見学等は出来ません。
 - (3) 受講中は、休憩時間を除き喫煙、飲食等を禁止します。
 - (4) 受講時の太鼓等の移動は、受講者が積極的に行って下さい。
 - (5) 受講者は、運動着、運動靴、筆記用具、バチを持参して下さい。
なお、各基本講座の受講者は次の指定バチをそれぞれ1組持参して下さい。
カシバチ 太さ 7.5分～8.0分 長さ 1尺3寸～1尺4寸
太さ 6.0分～6.5分 長さ 1尺3寸～1尺4寸
* 専門講座については開催要項をご参照下さい。
 - (6) 会場内で、太鼓関係物品の展示及び販売もいたしますので、ご利用下さい。

11. 生活上の心得

- (1) 団体生活においては、秩序と礼儀、協力と責任が基本条件になることを十分に認識して自分の行動を律して下さい。
- (2) 講師や受講生と積極的に語り合い、交流の輪を広げることが講習会の成果を大きく左右します。
- (3) 金銭等の貴重品は必ず身につけて下さい。
- (4) 事故等が発生したら直ちに本部に連絡して下さい。
- (5) 宿泊のマナーには十分気をつけて下さい。
万一の場合に備えて避難口を確認して下さい。室内の整理整頓に心がけて下さい。
寝タバコは絶対に禁止します。
- (6) 健康には留意し、特に睡眠時間を十分にとるようにして下さい。
万一体調をくずした場合は早めにお申し出下さい。

12. 講習曲使用について

講習会において使用した曲を、講習会以後に演奏したい場合は、財団事務局までご連絡下さい。

13. 技術検定 <受験希望者は、下記項目をご確認下さい。>

(1) 受験資格並びに方法

○ 1 級技術検定

2 級技術認定員のみ受験できます。打法の異なる専門講座に 3 回合格する必要があります。
専門講座のうち一つを受講して下さい。

なお、最終検定を受ける方は、論文（1,600字程度・テーマは日本太鼓の効用に関する内容）の提出が必要です。

○ 2 級技術検定

3 級技術認定員のみ受験できます。打法の異なる専門講座に 2 回合格する必要があります。
専門講座のうち一つを受講して下さい。

なお、最終検定を受ける方は、論文（800字程度・テーマは日本太鼓に関する内容であれば自由）の提出が必要です。

* 1・2 級技術検定において全打法（単式単打・単式複打・複式単打・複式複打）の専門講座を受講する必要があります。

* 1・2 級最終検定の論文は、400字詰め原稿用紙を使用して下さい。

○ 3 級技術検定 4 級技術認定員のみ受験できます。

○ 4 級技術検定 5 級技術認定員のみ受験できます。

○ 5 級技術検定 10才以上であれば初心者を含めどなたでも受験できます。

（2019年4月1日までに10才を迎える方も含みます。）

(2) 技術検定料は一律2,000円、講習内検定料は一律5,000円です。

(3) 認定料は、合格者に限りその場で必要となります。

1 級認定料 20,000円、 2 級認定料 10,000円、 3 級認定料 8,000円、

4 級認定料 5,000円、 5 級認定料 3,000円

(4) 検定試験の際は必ず各講座の指定バチをご使用下さい。

(5) 直接検定試験を受ける方は、受付で受験方法を確認して下さい。

(6) 基本講座は「日本太鼓教本」が一人一冊必要となります。お持ちでない方は、売店でお求め下さい。

第63回日本太鼓全国講習会・日程表

第1日目 2018年9月22日(土)

時 間	進 行	グリーンホテル三ヶ根	備 考
9:30	受付開始 受付次第、更衣室で着替えを済ませ、待機して下さい。 私物は個人で管理して下さい。	ホテルロビー	
	*男子更衣室:		
	*女子更衣室:		
9:40	*講習内検定者打合せ会(基本講座講師・講習内検定参加者)		
11:00	開会式 開会の辞 国歌斉唱 あいさつ (公財)日本太鼓財団 塩見和子理事長 日本太鼓財団愛知県支部 芝川征夫支部長 来賓祝辞 来賓・役員・講師紹介 閉会の辞	コンベンション ホール	
11:20	講師模範演奏 オリエンテーション *記念写真(講座別)		
12:00	昼食・休憩 *昼食後、各会場へ移動		
13:00	総合指導 講師:古屋邦夫氏 秩父屋台囃子講座 講師:高野右吉氏 助六太鼓講座 講師:今泉豊氏 締太鼓講座 講師:長谷川義氏 3級基本講座 講師:安江信寿氏 4級基本講座 講師:若山雷門氏 5級基本講座 講師:松枝明美氏 更新研修会 講師:浅野昭利氏 講師:古屋邦夫氏 講師:長谷川義氏		
18:00	講習終了 *講習内検定者反省会:		
19:00	夕食・入浴 消灯・就寝		
講師宿舎	グリーンホテル三ヶ根 〒444-0701 愛知県西尾市東幡豆町入会山1-287 Tel.0563-62-4111		
備考	宿舎では、マナーを守って生活して下さい。		

第2日目 2018年9月23日(日)

時間	進 行	グリーンホテル三ヶ根	備 考
	起床 朝食 片づけ *荷物は各講習会場に持参		
8:45	朝の集い(体操用に運動着を着用のこと)	各会場	
9:00	総合指導 講師:古屋邦夫氏 秩父屋台囃子講座 講師:高野右吉氏 助六太鼓講座 講師:今泉豊氏 締太鼓講座 講師:長谷川義氏 3級基本講座 講師:安江信寿氏 4級基本講座 講師:若山雷門氏 5級基本講座 講師:松枝明美氏 更新研修会 講師:古屋邦夫氏		
11:00	講習終了 成果発表会準備	移動・準備	
11:30	専門講座成果発表会		
12:00	閉会式 あいさつ (公財)日本太鼓財団 長谷川 義 副会長 日本太鼓財団愛知県支部	コンベンション ホール	
12:30	昼食・休憩		
13:00	専門講座成績発表		
13:30	専門講座講話:「太鼓について」 長谷川 義氏		

<以降、検定受験者のみ>

13:30	検定試験(筆記) 5級→3級→4級 終了次第、実技試験を受検 検定試験(実技) 4級→3級 終了次第、学科試験を受検 5級 5級は学科→実技試験 受講待機場所:		
15:00 (予定)	成績発表 (全員) *合格者は手続き終了後解散		
15:30 (予定)	終了予定		

講師プロフィール



総合指導

講師 古屋 邦夫

御諏訪太鼓保存会(長野県)会長
(公財)日本太鼓財団技術委員会委員長
(公財)日本太鼓財団1級公認指導員
日本太鼓財団長野県支部 支部長

- 1967年6月に御諏訪太鼓に入門、宗家小口大八氏に師事、以来今年で太鼓歴51年を数える。
- 1970年より宗家小口大八氏と共に岡谷太鼓の指導を始める。信州太鼓連盟(現在の長野県太鼓連盟)の発足に携わる。
- 1978年10月、長野県やまびこ国体で集団演技太鼓の部で県内チームを指導する。以降、各地の団体を指導し、その数170チームを数えている。また、海外でも数多くの公演を行い多くの海外チームを指導している。
- 1998年2月に開催された長野冬季オリンピックにおける閉会式の太鼓演奏や2,000人太鼓等の指導を行った。
- 1998年4月から当財団の技術委員会委員として活躍している。
- 2001年4月下旬～5月上旬にかけ、バルト3国(リトアニア、ラトビア、エストニア)におけるユネスコ会議等での公演に参加。
- 2008年10月から長野県支部長、御諏訪太鼓保存会会長に就任。



更新研修会

「更新研修会講話」

講師 浅野 昭利

(一財)浅野太鼓文化研究所 理事長

白山市生まれ。慶長14(1609)年より続く和太鼓製造技術を継承するとともに太鼓文化の振興と発展を旨とし、太鼓演奏団体の養成や指導者育成、太鼓関連書籍の出版、イベント開催、講演活動などを行う。株式会社浅野太鼓楽器店代表取締役、浅野太鼓祭司株式会社代表取締役社長、太鼓の里響和館代表、NPO法人おやこの広場あさがお理事長も務める。2006年経済産業省より「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業100社」表彰、2007年白山市より地域文化賞受賞。



専門講座

「秩父屋台囃子講座」(複式複打)

講師 高野 右 吉

高野右吉と秩父社中(埼玉県)代表
(公財)日本太鼓財団 副会長
(公財)日本太鼓財団 1級公認指導員
日本太鼓財団埼玉県支部名誉会長

秩父夜まつりは、京都の祇園、飛騨高山と並んで日本三大曳山祭のひとつであり、毎年12月3日に本祭が行われます。神が宿る20トンもの豪華な六基の山車が繰り出され、それぞれの山車の上で演奏されるのがこの屋台囃子です。1955年に県から無形文化財に指定され、1985年には文化財指定30周年を記念して太鼓道場を設立しました。また、これまでに外国人を含む千人余りの弟子を輩出しています。

○1942年、埼玉県秩父市で生まれる。

○幼い頃より父である初代高野右吉(埼玉県指定無形文化財 秩父屋台囃子保存者)について、秩父屋台囃子の稽古に日々打ち込む。

○1962年に屋台囃子保存会副会長、1983年に同会会長となる。

○演奏活動は、昭和天皇、皇后陛下の天覧を賜わるなど日本全国に及び喝采を浴びている。ボランティアとして地元はもとより各地で後継者を育てている。また、海外ではカナダ39日間公演をはじめ18カ国で公演し、芸術面、技術面とも絶賛された。

○1998年4月から当財団技術委員会副委員長として活躍している。



専門講座

「助六太鼓講座」(単式複打)

講師 今 泉 豊

助六太鼓(東京都)代表
(公財)日本太鼓財団運営委員
(公財)日本太鼓財団 1級公認指導員

○1952年 東京都文京区生まれ。小学生の頃より祭り太鼓に興味を覚え盆太鼓を始める。

○1965年 浅草国際劇場(松竹歌劇団)の鳴り物師、杵屋佐三造先生に邦楽器演奏の基礎指導を受けるなか、日本初のプロの和太鼓として確立しつつあった助六太鼓で演奏活動に参加するとともに、その太鼓打芸の継承を目的とし、湯島天神助六太鼓保存会(現・助六太鼓保存会)を発足する。

○1974年 大学卒業と同時に助六太鼓の代表を受け継ぐ。

○1975年 国立劇場主催「日本の太鼓」の第1回目、東京代表、「鼓韻の会」出演。

石川県御陣乗太鼓、池田庄作氏、長野県御諏訪太鼓、小口大八氏等とともに、現在の「公益財団法人日本太鼓財団」の前進である「全日本太鼓連盟」を設立する。全日本太鼓連盟が財団法人に認可されてからは、技術委員を経て、運営委員となり、後進育成と和太鼓界向上の為に力を注ぐ。

今泉豊の全身を使った正確で躍動するリズムと和太鼓本来の音にこだわる姿勢は、多層の人々に認められ、音楽界、TV界はもとより国内外で演奏、指導活動を展開し続けています。

講師プロフィール



専門講座・更新研修会 「締太鼓講座」(単式単打) 「専門講座・更新研修会講話」

講師 長谷川 ただし 義

豊の国ゆふいん源流太鼓(大分県)代表
(公財)日本太鼓財団 副会長
(公財)日本太鼓財団 1級公認指導員
全九州太鼓連合 名誉会長

九州の温泉地として有名な由布院は大分県の中央部に位置し、豊後富士といわれる由布岳の裾野、海拔500mの静かな町です。

ゆふいん源流太鼓は、地元で400年という長い歴史の中を名も無く、営々と打ち鳴らされてきたと伝えられる由布院のリズムを現代に引き継ごうと昭和54年に誕生しました。由布岳の裾野に毎夜集まり、四季折々の自然を相手に練習しながら、身体の中から古代のリズムを再現しています。世界中に、ゆふいんの音色が響きわたる日を楽しみに活動しています。



基本講座 「3級基本講座」

講師 安江 のぶ 信 ひさ 寿

手取亢龍太鼓保存会(石川県)
(公財)日本太鼓財団技術委員
(公財)日本太鼓財団 1級公認指導員

この講座は、3級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

- 1989年、手取亢龍太鼓を結成。リーダーとして地元で伝わる虫送り太鼓のリズムを残しながら、現在の演奏スタイルを確立する。
- 石川県太鼓連盟企画副委員長として、連盟組曲100人太鼓「加賀の響き、能登の響き」の作調・指導をした。また、石川県太鼓連盟主催の初心者教室、県立聾学校中学部の和太鼓クラブ、県内高校演劇クラブ、全国海づくり大会での合同演奏を指導している。
- その他、松任市保育園児600人虫送り太鼓の合同演奏、スポレク石川2000での100人太鼓の指導等を行っている。
- 日本太鼓ジュニアコンクールでは、第1回、第2回大会ともに舞台監督として活躍した。

講師プロフィール



基本講座

「4級基本講座」

講師 若山雷門

日本太鼓集団/鼓国雷響プロジェクト(岐阜県)代表
(公財)日本太鼓財団1級公認指導員
岐阜県教育委員会 特別非常勤講師

この講座は、4級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

- 17才にして夏祭りの櫓太鼓に心ひかれ撥を握る。
- 1980年、日本の太鼓まつり出演を皮きりに太鼓曲の作調、振り付け及び育成指導と併せて国内外に演奏活動を展開する。
- 1984年、荘厳な神話の歴史を貫いて誕生した世界最大級「ん太鼓」(直径2.4m)の打頭となり「ん太鼓奉賛会」より鼓号「雷門」を襲名する。また、中部圏を基盤に日本太鼓集団/鼓国雷響プロジェクトを創設し、それぞれ地域の観光、地場産業振興のために民俗芸能を継承している。
- 1996年4月、KOKOKURAIKYOU-HEADTEAM「鼓国雷響JAPAN」をJAPAN代表雷華と共に旗揚げした。
- 各地団体の指導を行ない、既にその数100チームを越える。
- 2011年5月から2015年3月まで当財団代議員、岐阜県支部副支部長を歴任した。



基本講座

「5級基本講座」

講師 松枝明美

御諏訪太鼓保存会(長野県)副会長
(公財)日本太鼓財団1級公認指導員
日本太鼓財団長野県支部 事務局長

この講座は、5級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

- 1980年3月に御諏訪太鼓に入門、宗家である小口大八氏に師事、以来今年は太鼓歴38年を数える。
- 福島県の指導を皮きりに県内外チームの指導に努め、すでに100チームを越える。
また海外でも数多くの公演を行い、多くの海外チームを指導している。
- 1998年2月に開催された長野県オリンピックにおける閉会式の太鼓演奏や2,000人太鼓等の指導を行う。
- 1999年は5月下旬～6月下旬にかけ、ペルー並びにポリアにおける日本人移住100年祭記念公演に参加。
- 2001年4月下旬～5月上旬にかけ、バルト3国(リトアニア、ラトビア、エストニア)におけるユネスコ会議等での公演に参加。
- 2008年10月から長野県支部事務局長、御諏訪太鼓保存会副会長に就任。

日本太鼓資格認定制度

本制度は、公益財団法人日本太鼓財団の寄付行為及び日本太鼓資格認定規程並びに日本太鼓資格認定規程細則で詳しく定めている。

主な内容は次のとおりである。

1. 本制度は、指導員としての資格について認定する「公認指導員」と演奏者としての技術水準の資格について認定する「技術認定員」の2つに区分される。
2. 公認指導員は、次の4つに区分され、それぞれ資格を有する。
 - (1) 特別公認指導員は、当財団が特に認めた者で、指導員研修会の講師並びに当財団及び支部が主催する全ての講習会における講師、検定員としての資格を有する。
 - (2) 1級公認指導員は、指導員研修会の講師並びに当財団及び支部が主催する全ての講習会における講師、検定員の資格を有する。
 - (3) 2級公認指導員は、当財団及び支部が主催する全ての講習会における基本打法担当講師、検定員としての資格を有する。
 - (4) 3級公認指導員は、支部が主催する講習会における基本打法担当講師としての資格を有する。
3. 技術認定員は、次の5つに区分される。
 - (1) 1級技術認定員は、演奏技術全般にわたり技術が正確かつ優秀である者をいう。
 - (2) 2級技術認定員は、演奏技術全般にわたり技術が正確である者をいう。
 - (3) 3級技術認定員は、基本打法の技術を正確に習得し、かつその演奏が優秀である者をいう。
 - (4) 4級技術認定員は、基本打法の技術を正確に習得した者をいう。
 - (5) 5級技術認定員は、基本打法の基礎を習得した者をいう。
4. 認定試験の受験資格は、次のとおりである。
 - (1) 1級公認指導員は、現に2級公認指導員であり、30才以上の年齢に達した者。
 - (2) 2級公認指導員は、現に3級公認指導員であり、20才以上の年齢に達した者。
 - (3) 3級公認指導員は、現に1級技術認定員であり、20才以上の年齢に達した者。
 - (4) 1級技術認定員は、現に2級技術認定員であり、10才以上の年齢に達した者。
 - (5) 2級技術認定員は、現に3級技術認定員であり、10才以上の年齢に達した者。
 - (6) 3級技術認定員は、現に4級技術認定員であり、10才以上の年齢に達した者。
 - (7) 4級技術認定員は、現に5級技術認定員であり、10才以上の年齢に達した者。
 - (8) 5級技術認定員は、10才以上の年齢に達した者。

公益財団法人日本太鼓財団概要

<設立日> 1997年11月11日

<公益財団移行日> 2012年4月1日

<資産> 基本財産 3億円

<加盟支部数> 45支部 (41都道府県)

<加盟団体数> 666団体

<会員総数> 19,000人

<役員>

会長	松本 英昭	(一社)地方公務員共済組合協議会会長
副会長	長谷川 義	豊の国ゆふいん源流太鼓代表・全九州太鼓連合名誉会長
副会長	高野 右吉	高野右吉と秩父社中代表
理事長	塩見 和子	常勤
常務理事	大澤 和彦	常勤
理事	石井 幹子	(株)石井幹子デザイン事務所代表取締役
理事	大宅 映子	評論家
理事	島津 久永	(公財)山階鳥類研究所顧問
理事	中西 由郎	元(公財)日本ゲートボール連合専務理事
理事	山内 強嗣	(社福)富岳会理事長

<評議員>

評議員	大竹 英雄	(公財)日本棋院顧問 (名誉碁聖)
評議員	岡田 知之	(公社)日本吹奏楽指導者協会会長
評議員	河合 睦夫	越中いさみ太鼓保存会相談役・富山県太鼓協会名誉会長
評議員	北村 汎	元駐英大使
評議員	佐藤 淳子	(一財)ライフ・プランニング・センター理事
評議員	高島 肇久	(株)海外通信・放送・郵便事業支援機構 取締役会長
評議員	濱田麻記子	(株)林原チャンネル代表取締役社長
評議員	古屋 邦夫	御諏訪太鼓保存会会長・長野県支部支部長
評議員	宮崎 義政	銚子はね太鼓保存会会長・千葉県支部支部長
評議員	渡辺 貞夫	音楽家

<監事>

監事	長内 健	弁護士 長内法律事務所
監事	竹村 葉子	弁護士 三宅・今井・池田法律事務所

(敬称略)

2018年度の主な事業活動予定

◇第22回日本太鼓チャリティコンサート

期 日：2018年5月31日(木)
場 所：草月ホール(東京都港区)
共 催：(一社)日本賢人会議所
出演団体：6団体

◇第3回大学太鼓フェスティバル

期 日：2018年8月30日(木)
場 所：文京シビックホール(東京都文京区)
共 催：大学太鼓フェスティバル実行委員会
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：16団体

◇第20回日本太鼓全国障害者大会

期 日：2018年10月7日(日)
場 所：文京シビックホール(東京都文京区)
共 催：(社福)富岳会
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：31団体

◇第33回国民文化祭・おおいた2018「太鼓の祭典」

期 日：2018年10月14日(日)
場 所：J:COM ホルトホール大分(大分県大分市)
主 催：文化庁、厚生労働省、大分県、大分県教育委員会、大分市、
大分市教育委員会、第33回国民文化祭大分県実行委員会・
第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、第33回国民文化祭・
第18回全国障害者芸術・文化祭大分市実行委員会、(公財)日本太鼓財団
主 管：全九州太鼓連合、日本太鼓財団大分県支部、大分県太鼓連合
出演団体：33団体

◇第2回浅草太鼓祭

期 日：2018年11月3日(土・祝)
場 所：隅田公園山谷掘広場(東京都台東区)
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：20団体程度

◇第15回日本太鼓シニアコンクール

期 日：2018年11月25日(日)
場 所：白山市松任文化会館(石川県白山市)
主 催：(公財)日本太鼓財団、(公社)石川県太鼓連盟、
(一財)石川県芸術文化協会、北國新聞社
主 管：日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会
出場団体：30団体程度

◇第21回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2019年3月24日(日)
場 所：けんしん郡山文化センター(福島県郡山市)
主 管：東北太鼓連合、日本太鼓財団福島県支部
出場団体：60団体程度

講習会開催予定一覧

日本太鼓全国講習会（財団主催）

◇第64回日本太鼓全国講習会(熊本県)

期 日 2019年2月16日(土)・17日(日)

開催地 熊本県宇城市

日本太鼓支部講習会（支部主催）

◇第82回日本太鼓支部講習会(兵庫県)

期 日 2018年11月10日(土)・11日(日)

開催地 兵庫県豊岡市

◇第83回日本太鼓支部講習会(福岡県)

期 日 2019年1月26日(土)・27日(日)

開催地 福岡県久山町

◇第84回日本太鼓支部講習会(東京都)

期 日 2019年2月2日(土)・3日(日)

開催地 東京都港区

*各講習会のお問い合わせは、(公財)日本太鼓財団公式ホームページまたは財団事務局
(Tel. 03-6205-4377)までお問い合わせください。

公認指導員・技術認定員の現在数

(2018年8月現在)

区分 級	公認指導員	技術認定員
1 級	42名	188名
2 級	36名	385名
3 級	138名	1,353名
4 級	—	2,443名
5 級	—	7,592名
計	216名	11,961名



〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2
Toranomom 1-11-2, Minato-ku, Tokyo 105-0001, Japan
Tel (03) 6205-4377 Fax (03) 6205-4378
URL: <http://www.nippon-taiko.or.jp>
E-mail: info@nippon-taiko.or.jp